

成長を支えるSQL Serverの 品質維持・向上に向けて パフォーマンス アセスメントを実施

大人の『考える力』を鍛えるオンラインビジネス教育プログラムを提供する株式会社ビジネス・ブレイクスルー。1998年の設立以来、ビジネスマン向けに質の高いマネジメント教育プログラムを提供している。システムにSQL Serverを活用する同社では、CSK Winテクノロジーの「SQL Server パフォーマンス アセスメントサービス」を利用。品質維持とさらなる品質向上を実現した。

SQL Serverの システム診断のため アセスメントサービスを利用

ビジネス・ブレイクスルーでは、設立時から業務システムの一部でデータベースにSQL Serverを利用してきた。使いやすさ、管理のしやすさに着目してSQL Serverを採用した。会社の成長に合わせてSQL Serverの重要性も増し、品質維持・向上の必要性を感じていた。

システム開発部 マネージャー 原 秀文氏は「SQL Serverサーバを利用していたのは一部のシステムですが、利用開始から長く使ってきたこともあり、今後も問題なく利用していくためにシステム診断をしておこうという話が出てきました」と振り返る。

同社ではちょうど同時期にハードウェア機器のリプレースが予定されており、それに合わせてSQL Serverについてもアセスメントを実施することになった。「当時の限られた人員の中で、本格的にアセスメントを実施するのであれば、専門家に入ってもらった

方が良いのではないかと考えました」と語るのにはシステム開発部 谷屋 昌章氏だ。

そこでシステム開発部では、データベースの専門家やコンサルティング企業などにアプローチし、アセスメントを実施するためのパートナーを探し始めた。現状の調査に加え、今後のことも視野に入れ、継続的な関係を構築するという点を重視。たどり着いたのがCSK Winテクノロジーだった。

「いくつかの企業や専門家の方に相談した結果、CSK Winテクノロジーは組織的、かつ継続的にSQL Serverに取り組まれているので、当社には合っているのではないかと考えました」(原氏)

このアセスメントのカギを握るのは、CSK Winテクノロジーの「SQL Server パフォーマンス アセスメント サービス」だ。SQL Serverの高度なスキルを有するテクニカルコンサルタントが調査を実施、最適化するサービスである。

的確な分析と迅速な提案により パフォーマンスが向上

「SQL Server パフォーマンス アセスメント



株式会社ビジネス・ブレイクスルー

経営コンサルタントの大前研一氏により1998年に設立。ビジネス・ブレイクスルー大学大学院、ビジネス・ブレイクスルー大学、英語教育など、幅広くさまざまなプログラムを展開し、経営指導、人材育成教育を行っている。多彩な講座やプログラムを通して、企業・個人における真のプロフェッショナルなリーダーを育成、その受講者数はのべ約5万人に広がっている。

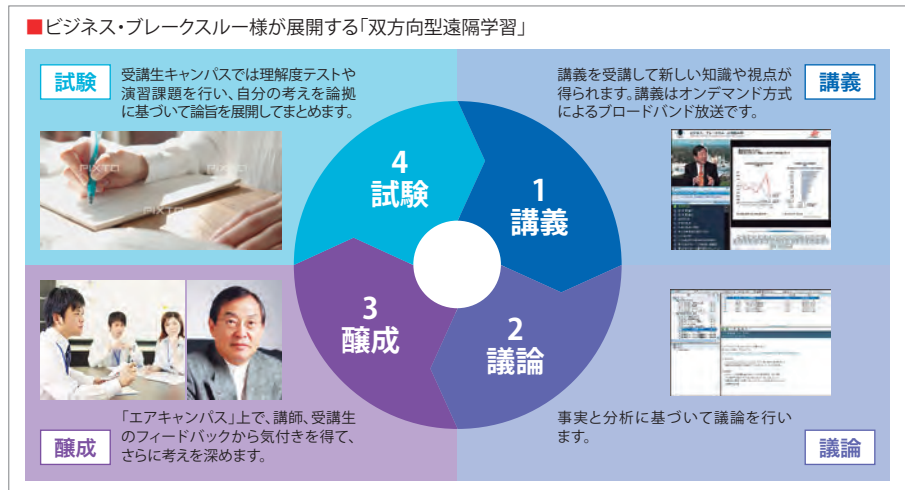
- 所在地 / 〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア
- 代表取締役 / 大前 研一
- 設立 / 1998年4月
- 資本金 / 14億7,700万円
- 従業員数 / 93名 (2013年3月現在)
- URL / <http://www.bbt757.com/>



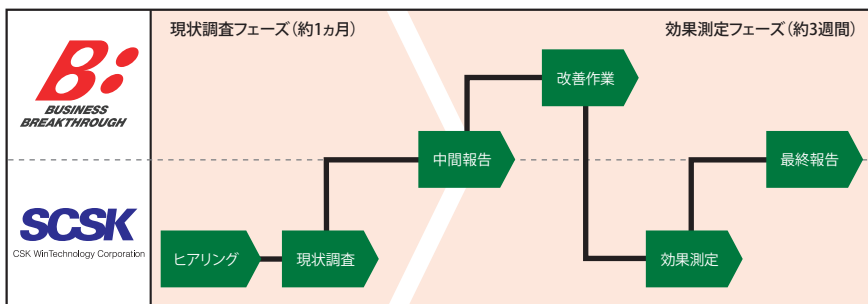
株式会社ビジネス・ブレイクスルー
システム開発部 マネージャー
原 秀文氏



株式会社ビジネス・ブレイクスルー
システム開発部
谷屋 昌章氏



■「SQL Server パフォーマンス アセスメントサービス」の流れ



- ヒアリング: 現状の問題点やデータベース構成などについてヒアリング
- 現状調査/効果測定: ビジネス・ブレイクスルー様のデータベース環境で診断ツールを用いて現状調査(診断)を実施
- 報告書作成: 現状調査で採取したデータを分析し、現状の課題と解決策を報告書にまとめる
- 中間報告/最終報告: 報告書の内容に基づき、現状調査の結果をご報告

サービス」の導入が決まると、すぐに詳細なヒアリングと分析に入った。そこで谷屋氏は、CSK Winテクノロジーのスピーディな対応に驚いたという。

「コンサルタントやエンジニアが何日にもわたって、オンサイトでデータベースを監視するものと思っていました。しかし、CSK Winテクノロジーが実際に当社のSQL Serverに触れたのはわずか3時間程度。その後は会社に持ち帰って調査・分析するというものでした。実際に3時間程度の調査で分かるのかと最初は不安を覚えました」と述べる谷屋氏。

しかし、その不安はすぐに払拭された。

「その日のうちに連絡がありまして、その段階で適用可能な対応をアドバイスしてくれました。そして、その通りに対応すると目に見えて効果が現れました」(谷屋氏)

CSK Winテクノロジーでは、独自の診断ツールや外部ベンダーのツールなども組み合わせ、必要最低限のコストで短期間かつ確実に診断できるよう、アセスメント手法を社内で確立している。そうしたアセスメント手法に基づき、谷屋氏は想像以上にスピーディな対応は「嬉しい誤算だった」

と語る。

短期的にすぐに適応可能な部分については当日から分析と提案が行われた。中間報告前には、同社のSQL Serverの現状分析と、当初の適応可能な最適化への提案は終わっていた。

また、スピーディな対応に加えて原氏は「こうした分析や提案が『これをしてください』『すぐやってください』といった自信を持った対応にも好感を覚えました。もちろん、効果があつてこそですが、実際に効果もあり、的確な分析・提案を迷いなく進言してくれたので、当社としても自信を持って対応できました」と強調する。

満足度の高いサービスを実感 今後も継続的な支援を

中間報告では、さらに詳細な分析の報告と多岐にわたる提案が行われた。それから約1カ月半にわたり、それらの分析と提案をもとにビジネス・ブレイクスルーでアプリケーションのチューニングをするなど、さまざまな最適化が行われた。そして、CSK Winテクノロジーによる効果の測定が行われ、最終報告に至ったのは2012年9月初旬の

ことだった。

最終的な「SQL Server パフォーマンス アセスメント サービス」の効果について原氏は、「SQL Serverのアセスメントでは、我々だけではとても調べられないような部分まで調査いただきました。さらに、的確な提案をいただいて、実際に得られた結果についても大変満足しています」と高い評価をしている。

谷屋氏も「分析と提案に基づいて、チューニングを行うことにより、パフォーマンスのさらなる向上が見られました。データベースの負荷も大幅に軽減し、処理効率や同時処理性能も向上しています」と語る。

なお、最終報告では、サーバの構成などにおよぶ根本的な最適化の提案も行われ、ひとまず9月初旬で最初の「SQL Server パフォーマンス アセスメント サービス」は終了した。しかし、その後もビジネス・ブレイクスルーでは「SQL Server テクニカル コンサルテーション サービス」を利用し、今後もCSK Winテクノロジーとともにさらなる品質向上を継続している。

今後について、原氏は「データベースに関しては今の性能を維持していけるように今後もアドバイスやご提案をいただけるとありがたいですね。データベース専任の担当者を置くことが難しい場合、CSK Winテクノロジーのように、SQL Serverを知り尽くした会社に見てもらうのが良いと実感しました。今回は、良いご縁があったと感謝しています」と言う。加えて谷屋氏も「将来的には、データベースのバージョンアップなども含めて、CSK Winテクノロジーには今後さらなるサポートいただけると心強いです」と締めくくった。



● 担当者コメント

今回、ビジネス・ブレイクスルー様へのご提案において、「SQL Server パフォーマンス アセスメント サービス」は、弊社独自のアセスメント手法を組み合わせ、お客様が直面する問題の原因と潜在的な問題を明らかにするサービスです。ビジネス・ブレイクスルー様の利用されているSQL Serverの調査・分析からさらなる品質向上、最適化のご提案をさせていただきました。その後もサーバ構成などの最適化を一緒に進めるなど、継続的にご支援をさせていただいております。



株式会社CSK Winテクノロジー
第二事業部 開発部
第三開発課 課長
三脇 一純 氏